



RTK Dual-band GNSS Receiver

ジ オ ウ オ ー カ ー

# GEO WALKER

2周波RTK-GNSS受信機

## GW01

## 傾斜補正・

## 気泡管設定ガイド

はじめに

この度はGW01をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書では傾斜補正の機能や気泡管の設定方法を解説します。本書の指示に従って設定を行ってください。

v1.0.0

はじめに	0
目次	1
1. DMP の設定	3
2. コンパスの校正	7
3. オフセット値の初期化	8
4. デジタル気泡管の使用方法	10

 **注意**

傾斜補正機能はポールを垂直に立てられない場合に使用するあくまで補助的な機能です。精度が必要な場面では機能を OFF にし、水準器を用いて水平状態を確保してから計測を行ってください。また、ご使用の際は必ず校正作業を行ってください。


 注意

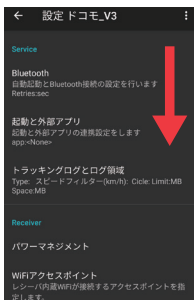
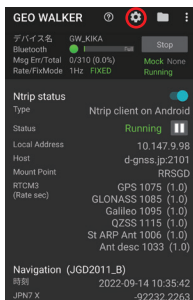
■設定の前に下記 4 つの設定や方法を遵守し設定を行ってください。

- ① [レシーバーの起動設定] を [デフォルト設定で起動] にする。
- ② アプリ並びに本体のファームウェアは最新のものにします。
- ③ アプリの設定で [ⓘメニュー] - [デフォルトに戻す] を行う。
- ④ 設定や実用の際は、磁石や鉄製のものを身につけた状態で使用しない。(磁石や鉄が内部のコンパスに干渉して、傾斜センサーがうまく働かない場合があるため)

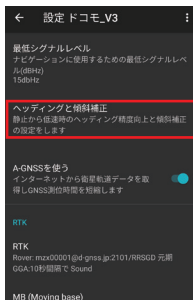
## 1. DMP の設定

傾斜補正機能では DMP を使用します。本セッションでは DMP の設定方法を解説します。

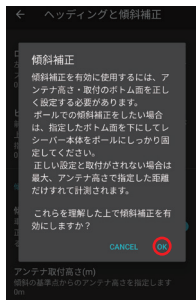
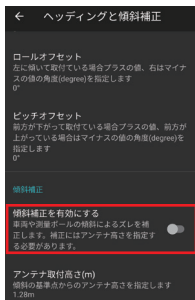
① トップ画面の  をタップして、下にスクロールします。



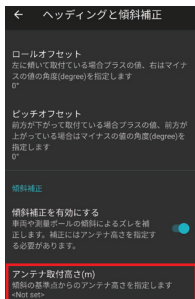
② [ヘディングと傾斜補正] をタップして、下にスクロールします。



- ③ [傾斜補正を有効にする] を ON にして、内容を確認後 [OK] をタップします。



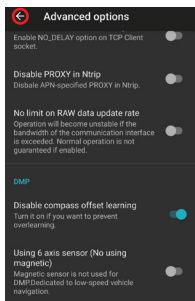
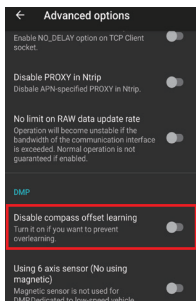
- ④ [アンテナ取付高さ (m)] をタップします。ポールの長さに 0.08m をプラスした数値を入力し、OK をタップします。  
例) 2m のポールに取り付けした場合 2.08 と入力してください。



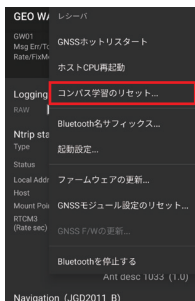
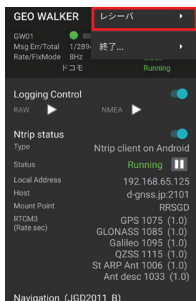
- ⑤入力後、←をタップし戻ります。一番下までスクロールして [Advanced options] をタップします。



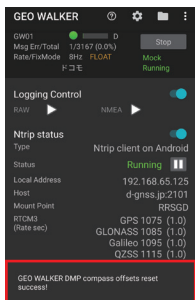
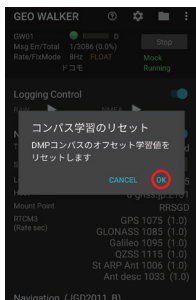
- ⑥ [Disable compass offset learning] をオンにします。←を二回タップしてトップ画面まで戻ります。



⑦ GEO WALKER の電源を入れて、Bluetooth 接続します。右上の ⓘ から [レシーバ] をタップ、その後 [コンパス学習のリセット...] をタップします。



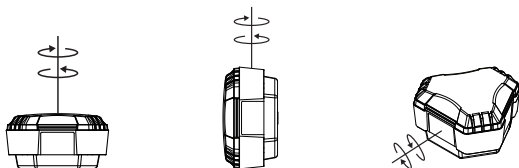
⑧ OK を押します。右画像のポップが出てきたら設定は終了です。GEO WALKER の電源を切ります。



## 2. コンパスの校正

GEO WALKER の内部に搭載されている磁気センサーは各方位の磁気を読み取って方位を決定します。そのため一回転以上させなければ北の方位を把握できません。本セッションではコンパスの校正方法を解説します。

- ①GEO WALKER 本体の電源を入れます。
- ②GEO WALKER をポール等に設置、ポールを軸にし、その場で数回転させます。反対向きにも数回転させます。
- ③傾斜角を大きく取る場合はポールを外し、X 軸と Y 軸でも同様に回転させてください。



※この際本体と Android 端末を接続する必要はありません。  
本体の電源が入っていればコンパスは学習を続けます。

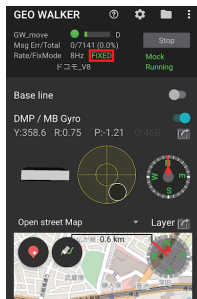
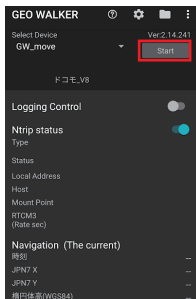
※校正は現場ごとに行ってください。こまめに行くとより精度を高めることができます。



## 3. オフセット値の初期化

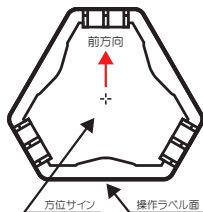
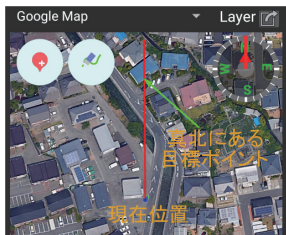
傾斜補正センサーのオフセット値をリセット（0 セット）する方法を解説します。


- ① GEO WALKER 本体をポールまたは三脚等に水平に設置します。
- ② GEO WALKER 本体をアプリと Bluetooth 接続し、[Start] をタップします。  
RTK が FIXED になるまで待ちます。

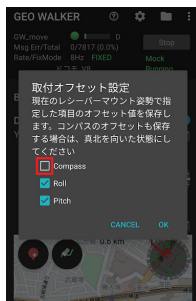
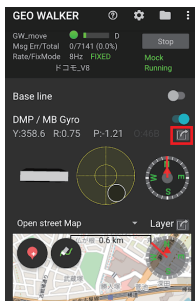


- ③ 方位磁石等を使用し、GEO WALKER の前方を真北に向けます。

手元に方位磁石がない場合は Google Map の衛星写真を表示し、現在地と真北にある目標物を確認します。（拡大率を下げると目標を決めやすくなります。）その目標物に対して本体の方位サインを北に向けます。

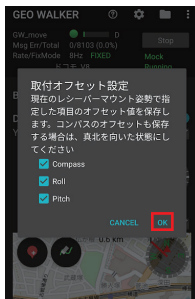


- ④ [DMP/MB Gyro] の矢印アイコン  をタップし、Compass 部のチェックボックスをチェックします。



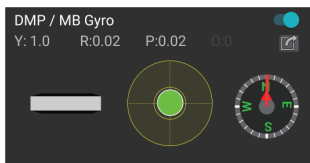
- ⑤ 3つのチェックボックスをすべてチェックした状態で [OK] をタップします。

※ レシーバーを正確に真北に向けることが重要です。これがうまく合っていないと傾斜の方角を正しく取得できません。



## 4. デジタル気泡管の使用法

ポールに気泡管が付いていない場合、アプリのデジタル気泡管を代用して整準することが可能です。本セッションではその設定方法を解説します。

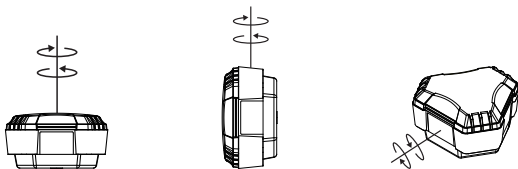


〈概要〉

気泡管は、左記の中央の黄色の円で表示されます。水平・垂直が取れると気泡円の色がグリーンに変わります。

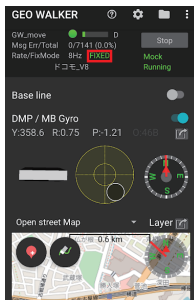
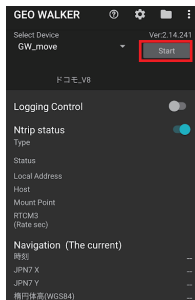
※気泡管の精度は下記手順を行う際の正確度に依存します。アナログの気泡管がある場合はそちらをご使用ください。

- ①本書 6 ページ 2. コンパスの校正を行います。



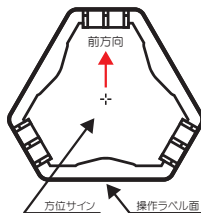
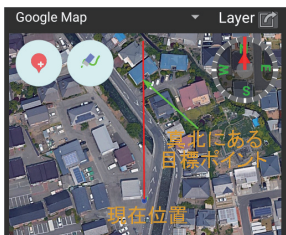
- ②GEO WALKER 本体をポールまたは三脚等に水平に設置します。

- ③GEO WALKER 本体をアプリと Bluetooth 接続し、[Start] をタップします。RTK が FIXED になるまで待ちます。

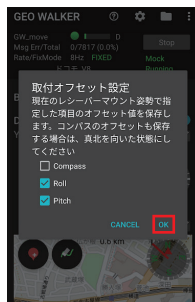
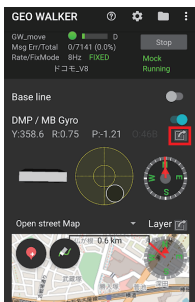


- ④方位磁石等を使用し、GEO WALKER の前方を真北に向けます。

手元に方位磁石がない場合は Google Map の衛星写真を表示し、現在地と真北にある目標物を確認します。(拡大率を下げると目標を決めやすくなります。) その目標物に対して本体の方位サインを北に向けます。



- ⑤メイン画面の DMP の矢印アイコン  をタップし、Roll と Pitch の 2 つをチェックした状態で [OK] をタップします。



※レシーバーを正確に真北に向けることが重要です。これがうまく合っていないと傾斜の方角を正しく取得できません。

※P.10～11の工程は現場ごとに行ってください。こまめに行うとより精度を高めることができます。